

## 全体朝礼 挨拶(3つの基礎)

おはようございます。年明けも早いもので、今週は1月の最終週、インターンシップや卒業考査を実施する週となりました。また、こうして3学年が揃って全体朝礼を行うのも今年度は今日が最後になります。

さて、先日始業式の式辞で、特殊ブルーカラーの話をしました。特殊なものづくりの技能者が必要とされる時代が来るといった内容でしたが、最先端のAI技術が世界的にも進んでいるアメリカでは、すでに「ブルーカラービリオネア」－AIに代替されにくい現場職や技術職などの技能者が、独立するなど起業して、億万長者になる成功者が次々に現れています。

戦中戦後、いつの時代も「仕事と仕事の狭間に、新しく成功する仕事の種がある」と言われたものですが、その成功の種を見つけて育てるためにも「課題発見力」と「技術力」、「人を巻き込む信頼と魅力」が必要になるでしょう。

何れにしてもこの学生時代に「3つの基礎」が、身についていることが大切です。

一つ目は、知的探究心で何事も「なぜ」「どうして」といった疑問を持ち、解決に向けての糸口を探ろうとする心です。

二つ目に、解決するために必要な知識・技術力です。

三つ目に、人に迷惑をかけず、失敗をしたとしても嘘偽り無く反省し、次に向かう努力を怠らない、心から信頼に足る人です。

しかしこれらは、一朝一夕に身につくものではありません。知的探求心、技術力、信頼は、身につけようと意識した人のみ、基礎の積み重ねによって身に付くものです。

(目で聴く（話し手の様子を観て、その人の心の声を聴く）いて察する)

話は少し変わりますが、サッカー、バスケットボール、ハンドボールなどの守備の基本は、自陣ゴールを背にして、マークする相手攻撃者を、ボール保持者と同一の視野の中で守備をして、パスされるボールに対して、相手よりも先にボールを触り奪うことです。同一視野という基礎・基本が大前提ですが、一つ一つの基礎を疎かにすると、次のグループ戦術、チーム戦術にも影響が出ますし、攻撃に転じる速攻に対しても、一歩も二歩も遅くなります。

したがって守備は、意識せずともサイドステップ、バックステップなどを組み合わせて、体勢を整える基礎・基本が、地道な練習によって自然にできるようになるなどあってこそ、華々しく相手からボールを奪うインターセプトや速攻が決まりますし、楽しみがあるのです。

人生は、自分が思っている方向に近づくものです。「ゆっくりしたい、怠けたい。できることなら何もしたくない。」と思ったら、その行動と結果がその時すぐに、または10年20年経って取り

返しのつかない世代になってから、過去に言動した「何もしたくない」の延長によって「何もできない」人生に成らざるを得なくなっているでしょう。しかし「色々なことに興味・関心を持ち、自分の力で『できるようになる』ことを増やしていきたい」と、困難をも愉しみに変えるバイタリティがあれば、ブルーカラービリオネアになれる可能性も高まります。

因果応報、人生は、全て皆さん的心の持ちように寄るのです。

終わりに、知的探求心、技術力、信頼、3つの基礎を身につけるために、今より早い時はありません。

皆さんが、人生を謳歌するためにも、意義ある学習、インターンシップを行うなど、今こそ、「人としての基礎を身につける学校生活にして欲しい」とお話をして、本日の挨拶といたします。